

10/6
五夜

ノーベル物理学賞 真鍋淑郎氏ら3氏

地球温暖化予測などに貢献

スウェーデン王立科学ア

カデミーなど、2021年

年のノーベル物理学賞を、
気候の物理モデルの開発を
主導し地球温暖化の予測に
貢献した米プリンストン大
学の真鍋淑郎上席研究員

と独マックスプランク気象
研究所のクリスティアン・ハッセ
ルマン教授、複雑系の理論
を発展させた伊サビエンツ
大学のジョルジオ・パリ
ーシ教授の3氏に授与する
と発表しました。

3氏は、複雑なシステム
の無秩序な事象を理論化す
る革命的な貢献が評価され
ました。

真鍋氏は、米プリ
ンストン大上席研
究員（ AFP 時事）

表面温度の上昇などのよう
に影響を与えるのかを示
しました。1960年代、世
界に先駆けて、対流によ
て空気が垂直輸送される現
象や水蒸気の潜熱の効果を
取り込んだ物理モデルを開
発しました。

真鍋氏は、1961年生ま
れ。東京大学で学位取得
後、米海洋大気局（NOA
A）で気候研究に従事。地
球の複雑な気候システムを
知るために気候モデルの基
礎を築きました。

日本人のノーベル賞受賞
は計29人に（米英國籍を含
む）。物理学賞は梶田隆章
氏（15年）以来で、今回で
計12人になりました。

